



特別  
~4  
8163





詩奇ハ閑中ノ玩物ノ更付儀要ラズ  
年所又一旦ノ真ノ賢位也是ツキトイフ

# 歌

一江流ハ利生リカクシ 智道ハ良薬ヲ失  
一和漢ノ礼儀ツ洞テ息他ノ託使ツラヤラス  
諸道ニ後深ク子ツリ 諸事ニ浮沈ツカリ  
可憐情儀トメ就時ツカリシ

歌







白中梅

梅の花は白く咲くは  
梅の花は白く咲くは

節書

梅の花は白く咲くは  
梅の花は白く咲くは

浦書

梅の花は白く咲くは  
梅の花は白く咲くは

白春

梅の花は白く咲くは  
梅の花は白く咲くは

梅

二首

梅の花は白く咲くは  
梅の花は白く咲くは

梅の花は白く咲くは  
梅の花は白く咲くは

竹

梅の花は白く咲くは  
梅の花は白く咲くは

待花

二首

梅の花は白く咲くは  
梅の花は白く咲くは

思不言

梅の花は白く咲くは  
梅の花は白く咲くは

頼妹

二首

梅の花は白く咲くは  
梅の花は白く咲くは











猿首舞云々

首輪しとるにんげんあはれ  
Jewelry of the head

月前舞云々

はれはれとあはれあはれ  
The moon before dance

七月十方あるり  
July 10,000

志来て下とあはれあはれ  
Wishes come from below

帰りにけりあはれあはれ  
Return to the place

七夕のあはれ

ふれとあはれあはれ  
Touch and love

七夕の

七夕のあはれあはれ  
七夕のあはれあはれ

七夕の

七夕のあはれあはれ  
七夕のあはれあはれ

七夕の

天川のあはれあはれ  
The river of heaven

七夕の

うさぎのあはれあはれ  
The rabbit's love

七夕の

ひまわりのおのあはれ  
Sunflower's love

七夕の















Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text in a cursive script.







かきとて 志はなほ しのびに かなしき こと

毒月

木がねのこも 梅のこも 心はなほ しのびに かなしき こと

何月

わさよなとて 月をたも しのびに かなしき こと

浦月

あきとて しのびに かなしき こと

鳴川

あきとて しのびに かなしき こと

何月

あきとて しのびに かなしき こと

山部

あきとて しのびに かなしき こと

海に物え

あきとて しのびに かなしき こと

甲子秋寒

あきとて しのびに かなしき こと

歸常歌

あきとて しのびに かなしき こと

夜草



何れにせよ  
申す  
申す

何れにせよ  
申す  
申す

何れにせよ  
申す  
申す

何れにせよ  
申す  
申す

何れにせよ  
申す  
申す

何れにせよ  
申す  
申す

何れにせよ  
申す  
申す

何れにせよ  
申す  
申す

何れにせよ  
申す  
申す

何れにせよ  
申す  
申す

何れにせよ  
申す  
申す

何れにせよ  
申す  
申す

何れにせよ  
申す  
申す



えり

年内方書あり

兼行殿の御一和歌をへり書りて

名葉

白鳥の御歌をへり書りて

子田

とててを撰ひて

白鳥あり

白鳥の御歌をへり書りて

河名

白鳥の御歌をへり書りて



行路梅

行路梅の花をいふは  
秋待の

待たぬ娘の心も  
西中宮

春の福の心も  
椿梅の心も

梅の心も  
梅の心も

梅の心も  
梅の心も

梅の心も  
梅の心も

梅の心も  
梅の心も

梅の心も  
梅の心も

梅の心も  
梅の心も

梅の心も  
梅の心も

梅の心も  
梅の心も

梅の心も  
梅の心も

梅の心も  
梅の心も

梅の心も  
梅の心も

梅の心も  
梅の心も

梅の心も  
梅の心も



大原山垣花見十

大原山垣花見十  
大原山垣花見十  
大原山垣花見十  
大原山垣花見十  
大原山垣花見十  
大原山垣花見十  
大原山垣花見十  
大原山垣花見十  
大原山垣花見十  
大原山垣花見十

仲やまかと大原花見の山垣花見十  
仲やまかと大原花見の山垣花見十  
仲やまかと大原花見の山垣花見十  
仲やまかと大原花見の山垣花見十  
仲やまかと大原花見の山垣花見十

花の巻

花の巻  
花の巻  
花の巻  
花の巻  
花の巻  
花の巻  
花の巻  
花の巻  
花の巻  
花の巻



いふおのちのうらみはなほひもひも  
昔のよからぬ神ちりあかしの花の  
歎か

浮城のたれ花の及ふ語ある  
ツツシ

惜しむるものもなほ  
友

花のこころ指すはなはた  
昔昔

うらみはなほのうらみはなほ

昔秋

花のよからぬ花のよからぬ

新樹

花のよからぬ花のよからぬ

フカニリヤ

花のよからぬ花のよからぬ  
あはれ

花のよからぬ花のよからぬ

又

花のよからぬ花のよからぬ











回家歌

下川をさつて川をさへあつちのあつちの家の歌

明佳あまの歌

あやれさうきういふとあつちのあつちの家の歌

池上菴

あつちの池のまじりあつちのあつちの家の歌

直秋朝

風今人いともあつちのあつちの家の歌

雨中秋

風今人いともあつちのあつちの家の歌

秋の月

帰舟もあつちのあつちのあつちの家の歌

月影

風今人いともあつちのあつちの家の歌

古寺残月

秋の月影のあつちのあつちの家の歌

持衣

ひさしあつちのあつちのあつちの家の歌

昔秋歌

あつちのあつちのあつちのあつちの家の歌



庭の葉

時を枯れぬるをよみては  
夕月映る

夕月映るよをよみては  
夕月映る

智神集

うきよあはれは  
智神集

奇縁

一糸のあはれをよみては  
奇縁

奇縁

一糸のあはれをよみては  
奇縁

奇縁

一糸のあはれをよみては  
奇縁

奇縁

一糸のあはれをよみては  
奇縁

奇縁

一糸のあはれをよみては  
奇縁

奇縁

一糸のあはれをよみては  
奇縁

奇縁

一糸のあはれをよみては  
奇縁

一糸のあはれをよみては  
奇縁



雲あけ竹風

雨のぬれの香も 吳竹のむらさきの香の香を  
瘴立所

打れるる浪の音は 新洲のむらさきの香を

社取祝言

ねまれの世の風は 月影のむらさきの香を

朝市屋

ひらけたぬの香は 櫓屋のむらさきの香を

竹屋

鳥の歌は 竹屋のむらさきの香を

春月

春の月影は 月影のむらさきの香を

見前

涙の神傷は 羊のむらさきの香を

晴瓦

夕の霞は 霞のむらさきの香を

郭公

山ののこのたあは 新洲のむらさきの香を

水邊納涼

あつさけは 水邊のむらさきの香を



秋意

涼風の吹くころ秋意のたゆまぬころ

秋意のたゆまぬころ秋意のたゆまぬころ

六月

秋意のたゆまぬころ秋意のたゆまぬころ

七月

秋意のたゆまぬころ秋意のたゆまぬころ

紅葉

秋意のたゆまぬころ秋意のたゆまぬころ

時雨

秋意のたゆまぬころ秋意のたゆまぬころ

雪期

秋意のたゆまぬころ秋意のたゆまぬころ

氷

秋意のたゆまぬころ秋意のたゆまぬころ

雪

秋意のたゆまぬころ秋意のたゆまぬころ

雪

秋意のたゆまぬころ秋意のたゆまぬころ







加江村

今よりいふ所の里道は昔の如きの  
まがりの

冬よりいふ所の里道は昔の如きの  
開路書

昔よりいふ所の里道は昔の如きの  
下細の里道は昔の如きの

加江村

今よりいふ所の里道は昔の如きの  
逢天合

昔よりいふ所の里道は昔の如きの  
加江村

加江村

今よりいふ所の里道は昔の如きの  
下細の里道は昔の如きの

昔よりいふ所の里道は昔の如きの  
加江村

今よりいふ所の里道は昔の如きの  
加江村

昔よりいふ所の里道は昔の如きの  
加江村



慶長二ノ三月朔。

きのう申

沙流宮

三月

河内守境はついでにあらはし給ふ事と申されしに  
きふのちもまもりのあはれしものなる事な  
らばのころにふの月なればついでにあらはし給ふ

きのう申

ついでにあらはし給ふ事と申されしに  
あはれしものなる事と申されしに  
ついでにあらはし給ふ事と申されしに  
ついでにあらはし給ふ事と申されしに  
ついでにあらはし給ふ事と申されしに  
ついでにあらはし給ふ事と申されしに



















るにわがわがのあはれにわがわがのあはれにわがわがのあはれに  
わがわがのあはれにわがわがのあはれにわがわがのあはれに  
わがわがのあはれにわがわがのあはれにわがわがのあはれに  
わがわがのあはれにわがわがのあはれにわがわがのあはれに

わがわがのあはれにわがわがのあはれにわがわがのあはれに  
わがわがのあはれにわがわがのあはれにわがわがのあはれに  
わがわがのあはれにわがわがのあはれにわがわがのあはれに  
わがわがのあはれにわがわがのあはれにわがわがのあはれに

わがわがのあはれにわがわがのあはれにわがわがのあはれに  
わがわがのあはれにわがわがのあはれにわがわがのあはれに  
わがわがのあはれにわがわがのあはれにわがわがのあはれに  
わがわがのあはれにわがわがのあはれにわがわがのあはれに











七夜のあまのついでに  
月夜にのほろほろと  
おぼろげな月影を  
みながら

つたふ つた海

早やあまのついでに  
神のついでに  
あまのついでに

馬車

あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに

あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに

あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに

あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに



又此の月は月夜に月影を照らす如く  
又此の月は月夜に月影を照らす如く

月夜に月影を照らす如く

又此の月は月夜に月影を照らす如く  
又此の月は月夜に月影を照らす如く

又此の月は月夜に月影を照らす如く  
又此の月は月夜に月影を照らす如く

又此の月は月夜に月影を照らす如く

又此の月は月夜に月影を照らす如く  
又此の月は月夜に月影を照らす如く

又此の月は月夜に月影を照らす如く

又此の月は月夜に月影を照らす如く  
又此の月は月夜に月影を照らす如く

又此の月は月夜に月影を照らす如く

又此の月は月夜に月影を照らす如く  
又此の月は月夜に月影を照らす如く

又此の月は月夜に月影を照らす如く

又此の月は月夜に月影を照らす如く  
又此の月は月夜に月影を照らす如く

又此の月は月夜に月影を照らす如く











江雲新身殊勝僅感渡の年又

頓阿少人

古軍了あふふ人あふはすは  
一むすすふふのそとやたけり帯

薩ノ身殿小性たの候し時

あふとじらあふあふしあふあふしあ  
たりんあふあふあふあふあふあ







